鉄で未来を 未来の鉄を

2024年3月期第2四半期 決算説明資料

2023年11月

大和工業株式会社

東証プライム（証券コード：5444）

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

略語、会計年度、換算レート

● **略語の説明**

	タイ	**SYS**	Siam Yamato Steel Co., Ltd.	連結子会社　(会計年度：2023年1月～12月)
	アメリカ	**NYS**	Nucor-Yamato Steel Company	持分法適用会社(会計年度：2023年1月～12月)
	アメリカ	**ASA**	Arkansas Steel Associates, LLC	持分法適用会社(会計年度：2023年1月～12月)
	ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**SULB**	Sulb Company BSC(c)	持分法適用会社(会計年度：2023年1月～12月)
	ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ	**Saudi Sulb**	United Sulb Company (Saudi Sulb) LLC	持分法適用会社(会計年度：2023年1月～12月)
	ベトナム	**PY VINA**	POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY	持分法適用会社(会計年度：2023年1月～12月)
	韓国	**YKS**	YK Steel Corporation	持分法適用会社(会計年度：2023年1月～12月)
	アメリカ	**YKA**	Yamato Kogyo America, Inc.	持株会社
	アメリカ	**YHC**	Yamato Holding Corporation	持株会社
	アメリカ	**YK(USA)**	Yamato Kogyo (U.S.A.) Corporation	持株会社
	ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**Bahrain Venture**	United Steel Company(”Sulb”)　Bahrain Venture Co.W.L.L.	持株会社
	韓国	**YKH**	Yamato Korea Holdings Co., Ltd.	持株会社

（注）当社・国内子会社・国内関連会社の会計年度は2023年4月～翌3月

● **換算レート**

		Yen/Dollar			Yen/Baht			Won/Yen		
		前年実績	前回予想/実績 (2023年7月31日)	今回予想	前年実績	前回予想/実績 (2023年7月31日)	今回予想	前年実績	前回予想/実績 (2023年7月31日)	今回予想
損益計算書	1-6月平均	124.54	**136.54**	**-**	3.67	**3.97**	**-**	9.90	**9.48**	**-**
	通期予想	132.09	135.77	**139.67**	3.75	3.90	**3.97**	9.78	9.64	**9.44**
貸借対照表	6月末	136.69	**144.99**	**-**	3.87	**4.06**	**-**	9.46	**9.05**	**-**
	9月末	144.81	135.00	**149.58**	3.87	3.84	**4.09**	9.91	9.73	**8.99**
	12月末予想	132.70	135.00	**140.00**	3.82	3.84	**3.81**	9.55	9.73	**9.65**
	3月末予想	133.54	128.00	**135.00**	-	-	**-**	-	-	**-**

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

決算ハイライト

Ⅰ 2024/3期 第2四半期決算の概要

Ⅱ 2024/3期 決算の見通し

Ⅲ 株主還元(配当方針の一部見直し及び配当予想)

Ⅳ 企業価値向上に向けた取り組み状況

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

決算ハイライト – 2024年3月期 第2四半期

事業動向KPI

グループ総販売数量*
286万トン
(前年同期比▲9.2%)

H形鋼販売比率**
66.3%
(前年同期比▲0.7pp)

海外比率
(経常利益基準)
72.7%
(前年同期比▲10.8pp)

自己資本比率
86.3%
(前期末比+0.7pp)

財務動向KPI

営業利益率
9.8%
(前年同期比▲0.2pp)

持分法損益
331億円
(前年同期比▲5.4%)

経常利益率
63.0%
(前年同期比+8.8pp)

ROE ***
15.4%
(前年同期比▲4.7pp)

*グループ会社の販売数量の単純合計。半製品、DRI及びグループ間取引を含む
**半製品、DRIを除く製品に占めるH形鋼の販売比率
***年換算して算出

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.



Ⅰ 2024/3期 第2四半期 決算の概要

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024/3期　第2四半期 決算の概要（累計）

- **中国経済の回復の遅れ等により世界的に鋼材需要・市況は軟化傾向。形鋼需要も低調に推移。拠点によっては安価な中国材の流入の影響が増すなど先行き不安が続く**
- **鉄鋼日本は鋼材マージン改善により増益も、鉄鋼タイは販売数量減により大幅に減収減益**
- **経常利益は前年並みの506億円。持分法利益は米国事業中心に高収益確保も減益。円安及び米国金利上昇が寄与**

(億円)	2023/3期 2Q累計	2024/3月期 2Q累計		前年同期比		前回予想比	
		直近予想 (2023/7/31)	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	947	795	**803**	▲144	▲15.2%	8	1.0%
鉄鋼事業（日本）	362	–	**365**	2	0.6%	–	–
鉄鋼事業（タイ国）	540	–	**386**	▲154	▲28.5%	–	–
軌道用品事業	28	–	**36**	7	27.0%	–	–
営業利益	94	75	**78**	▲15	▲16.6%	3	4.0%
鉄鋼事業（日本）	32	–	**56**	24	76.5%	–	–
鉄鋼事業（タイ国）	74	–	**33**	▲41	▲55.2%	–	–
軌道用品事業	0	–	**4**	4	857.4%	–	–
経常利益	513	470	**506**	▲7	▲1.4%	36	7.7%
持分法投資損益	350	–	**331**	▲18	▲5.4%	–	–
親会社株主帰属四半期純利益	378	330	**363**	▲15	▲4.0%	33	10.0%
営業利益率	9.9%	9.4%	**9.8%**	▲0.1pp	-	0.4pp	-
経常利益率	54.2%	59.1%	**63.0%**	8.8pp	-	3.9pp	-

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024/3期　第2四半期 決算の概要（四半期）

- **2Qは対1Q比で減収減益。日本・タイともに販売数量減。持分法利益の増加は円安効果含む**
- **前年同期比では減収減益。経常利益は過去最高益の前2Q比で30億円減。グループ総販売数量が減少傾向のなか、各拠点において鋼材マージン維持を図り、円安及び金利上昇による押上げも加わり、高水準確保**

（億円）	2023/3期				2024/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	469	477	443	413	425	**378**	–	–
鉄鋼事業（日本）	183	179	192	173	189	**175**	–	–
鉄鋼事業（タイ）	265	274	221	212	210	**175**	–	–
軌道用品事業	13	14	18	17	15	**20**	–	–
営業利益	42	51	41	32	41	**37**	–	–
鉄鋼事業（日本）	9	22	30	24	29	**26**	–	–
鉄鋼事業（タイ）	38	35	17	15	16	**16**	–	–
軌道用品事業	0	0	1	0	1	**2**	–	–
経常利益	231	281	214	177	254	**252**	–	–
持分法投資損益	151	199	174	137	160	**171**	–	–
親会社株主帰属四半期純利益	180	198	152	121	183	**180**	–	–
営業利益率	9.0%	10.9%	9.4%	7.8%	9.7%	**9.9%**	–	–
経常利益率	49.3%	59.0%	48.3%	42.9%	59.7%	**66.6%**	–	–

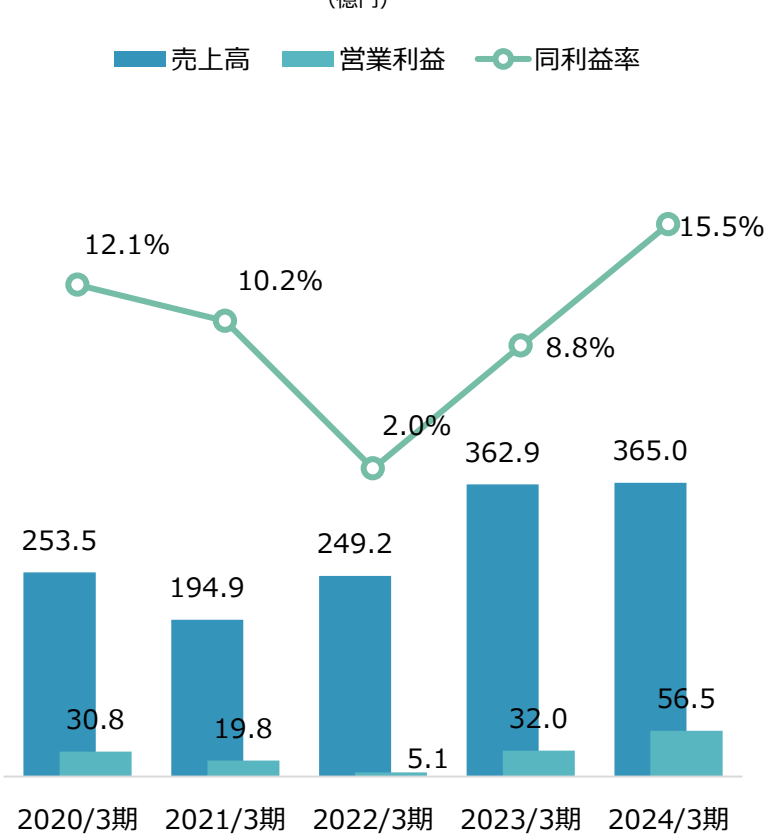
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　①鉄鋼事業（日本）

- **大型建築案件向けや土木関連の需要は堅調。一方、中小建築案件向けは低調が続く**
- **前年同期比では、販売数量減少も販売単価上昇による鋼材マージン改善により増益**

業績推移－2Q(累計)



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ 都市再開発及び半導体・物流施設などの大型建築案件の需要は底堅く推移
  - ✓ 中小建築案件は資材価格高騰後、継続して荷動きは低調

- ヤマトスチールの動向
  - ✓ 主力の物件向けH形鋼や鋼矢板を中心に受注は順調
  - ✓ 2Q累計の販売数量は、今夏から圧延設備の更新工事を計画的に実施している影響もあり、前年同期比8%減の27.2万トン
  - ✓ 大型サイズの生産・販売強化を図るとともに、物件向けH形鋼のサイズエキストラ改定を行うなど販売価格の高値維持に努め、2Qの鋼材マージンも74.1千円/トンと高水準

万トン、千円/トン	2023/3期				2024/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量	15.3	14.1	14.6	13.0	14.2	13.0		
鋼材マージン	50.3	67.5	73.0	71.4	74.1	74.1		

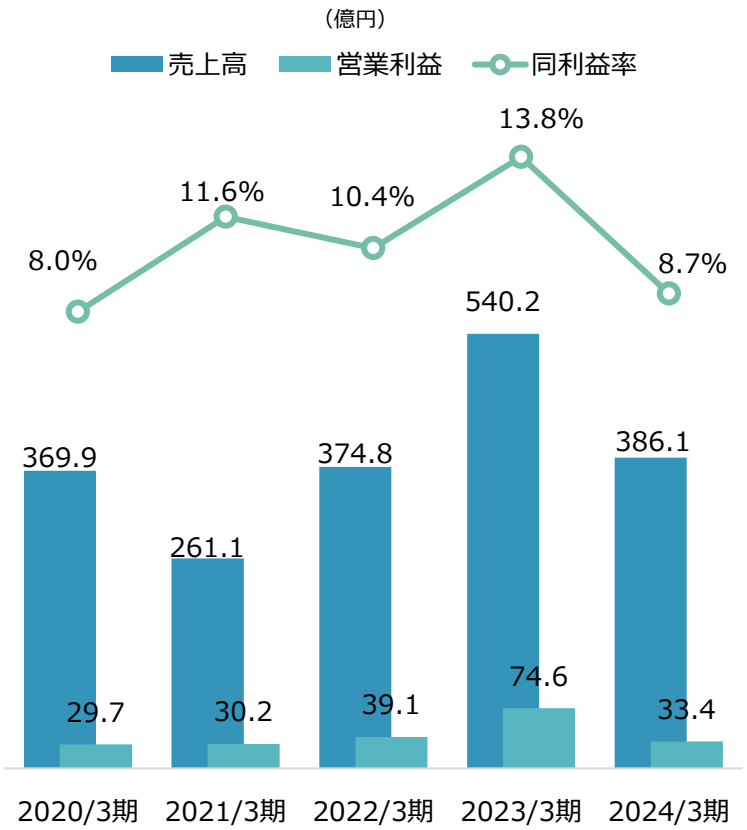
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　②鉄鋼事業（タイ国）

- **国内の形鋼需要は総選挙後の政治混乱の影響もあり低調に推移し、輸出市場では昨年下期から続く中国メーカー等との競争が厳しさを増しており、販売数量は大幅減**
- **鉄スクラップ価格の下落もあり高水準の鋼材マージンを維持するも、輸出が好調であった前年同期比で大幅減益**

業績推移-2Q(累計)



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ 総選挙後の新政権樹立が遅れたことで、インフラ投資が遅延
  - ✓ ASEAN地域は中国経済の減速及びインフレの影響により需要が低迷。安価な中国材の流入が増しており、市況は軟化
- SYSの動向
  - ✓ 2Q累計の販売数量は主に輸出向けの落ち込みにより、前年同期比29%減の31.8万トン
  - ✓ 鉄スクラップ市況の下落時も国内販売価格の維持に努めたことで鋼材マージンは高水準を維持

（万トン、千B/トン）	2023/3期				2024/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量（半製品含む）	23.5	21.5	17.3	17.1	17.5	14.3		
鋼材マージン	15.9	16.3	17.6	16.6	16.4	17.1		

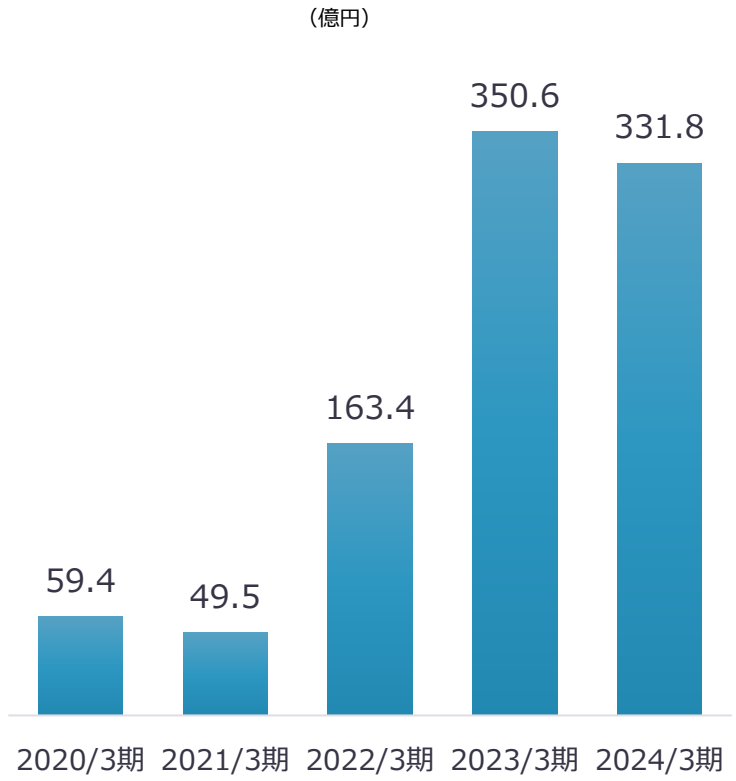
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

持分法適用会社の状況

- **持分法投資損益は前年同期比5%減の331億円。各拠点で減益も円安が寄与し、若干減**
- **地域別では米国・中東事業は前年同期比で減益ながらも好調維持。ベトナム・韓国事業は一定の収益を確保も需要低迷により販売数量は減少**

持分法投資損益の推移-2Q (累計)



損益増減要因

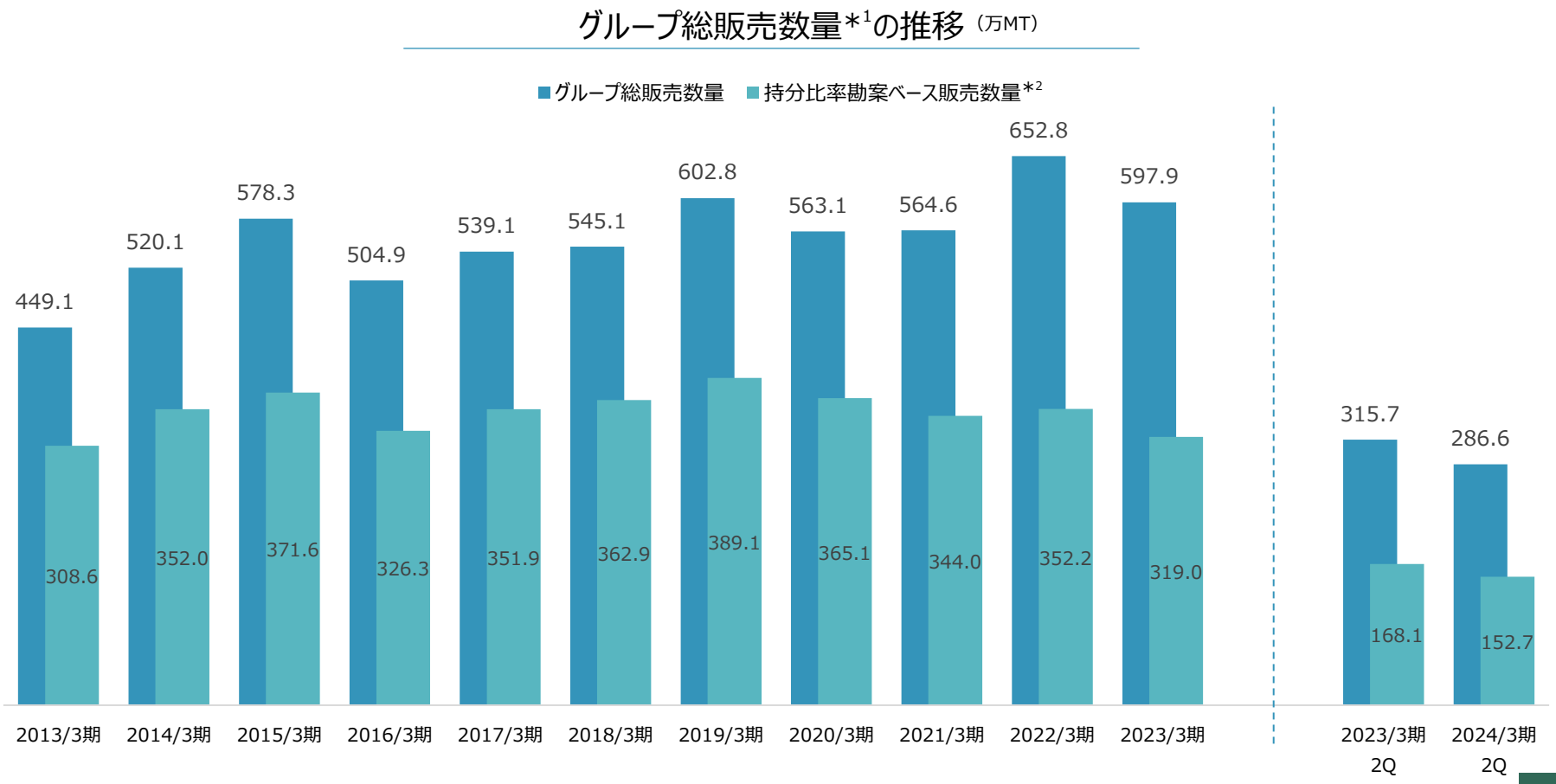
- 米国
  - ✓ 形鋼需要は半導体や電気自動車関連などの大型工場建設案件を中心に底堅く推移
  - ✓ 金融引き締めの影響から流通顧客向けは低調が続く
  - ✓ 一部サイズで競合他社・輸入品との競争が高まる
  - ✓ 販売数量の減少により減益ながらも高水準の鋼材マージンは維持し、高収益を確保
- 中東
  - ✓ 昨年の原油高以降、建設活動は回復基調にあり、フル生産状態が継続
  - ✓ 市況は年明け以降、安価な中国材の流入の影響を受け軟化傾向(トルコ地震後は一時的に持ち直し)
  - ✓ 販売価格がスクラップ高騰により高値圏で推移した前年同期比では減益ながらも、高収益を確保
- アジア
  - ✓ ベトナムは不動産不況が波及し、建設業界全体が低迷。中国製品を加工した建築材との競合もあり、販売数量は減少。輸出強化により一定の収益を確保
  - ✓ 韓国ではインフレと金利上昇の影響を受け、鉄筋需要が落ち込み、販売数量が大幅減少

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ総販売数量の推移

- ２Q累計のグループ総販売数量は前年同期比9%減の286.6万トン（中東以外の拠点は減少）

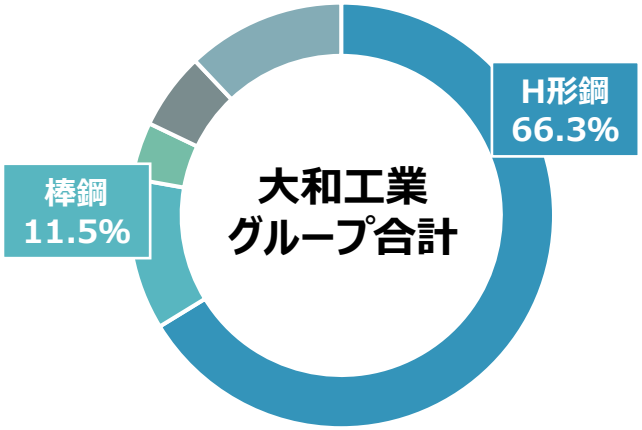


*1 半製品、DRI、及び、グループ間取引を含む

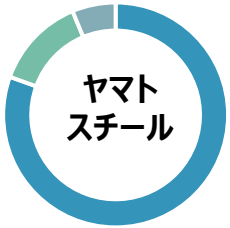
*2 各社の販売量に当社の持分比率を乗じたもの

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

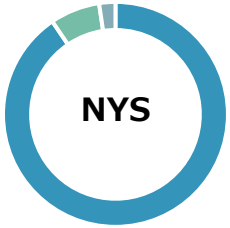
製品構成　2Q累計実績



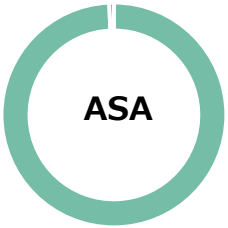
H形鋼	棒鋼	鋼矢板	山形鋼	その他
66.3%	11.5%	4.3%	5.8%	12.1%



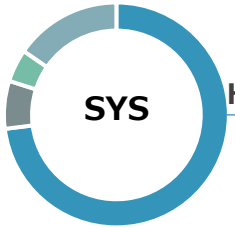
H形鋼　80.5%



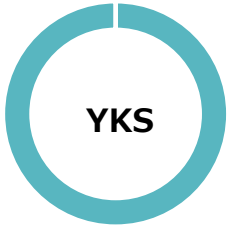
H形鋼　90.5%



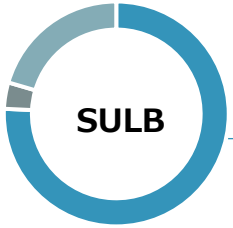
タイプレート　99.3%



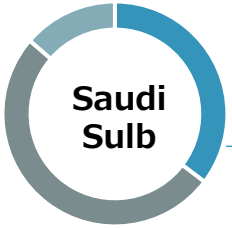
H形鋼　73.0%



棒鋼　100%



H形鋼　75.7%



H形鋼　35.3%



H形鋼　96.9%

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

B/Sの状況

- **堅調な業績及び円安を主因として、総資産・負債純資産は増加**

（億円）	2022/3期	2023/3期	2024/3期 2Q	前期比増減
流動資産	1,677	2,382	**3,013**	631
現預金	997	1,624	**2,259**	635
売掛債権	251	282	**324**	42
棚卸資産	398	398	**381**	▲16
固定資産	2,472	2,767	**2,804**	37
有形固定資産	597	633	**655**	21
投資その他の資産	1,858	2,115	**2,129**	14
投資有価証券	562	731	**855**	123
(うち関係会社株式)	(440)	(598)	**(694)**	(96)
長期預金	236	94	**104**	9
総資産	4,149	5,150	**5,818**	668
負債	392	447	**484**	36
買入債務	110	105	**99**	-6
繰延税金負債	138	172	**197**	25
純資産	3,756	4,702	**5,333**	631
為替換算調整勘定	186	584	**905**	320
非支配株主持分	253	295	**310**	14
負債純資産合計	4,149	5,150	**5,818**	668

既存設備の戦略的能力増強やM&A/新規事業投資への機動的対応に向け確保
(うち、ドル預金約13億ドル)

投資その他の資産は下記含む
関係会社株式　694億円
関係会社出資金　874億円
関係会社長期貸付金　281億円

うち金融資産*は2,525億円と
前期末比673億円増加
(為替の影響 +約170億円)

有利子負債ゼロ

自己資本比率86.3%(前期末比+0.7pp)
一株当たり純資産7,884円(前期末比+967円)

※為替換算調整勘定905億円
(前期末比+320億円)の影響含む

*金融資産＝現預金+有価証券+投資有価証券（除く：関係会社株式）+長期預金

大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

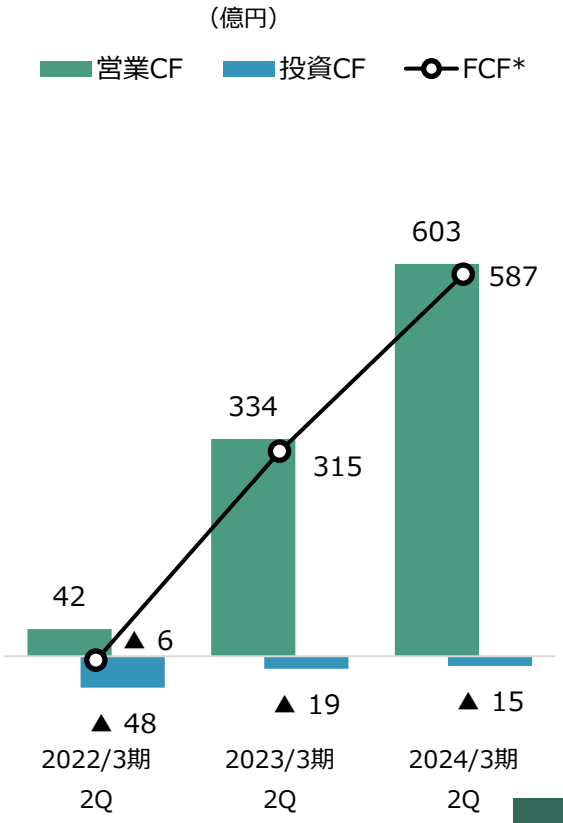
キャッシュフローの状況

- **FCFは好調な米国持分法会社からの現金分配等により、前年同期比272億円増の587億円**
- **投資CFは有形固定資産の取得等により▲15億円**
- **財務CFは株主還元等で▲110億円(前年同期比33億円の支出増)**

(億円)	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	**2024/3期 2Q**	前年同期比 増減
営業CF	42	334	**603**	268
投資CF(定期預金増減除く)	▲ 48	▲ 19	**▲ 15**	3
有形固定資産取得	▲ 22	▲ 14	**▲ 25**	▲ 11
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却	▲ 21	-	**-**	-
FCF*	▲ 6	315	**587**	272
財務CF	▲ 76	▲ 77	**▲ 110**	▲ 33
自社株買い	▲ 36	▲0	**▲1**	▲1
配当金支払	▲ 26	▲ 63	**▲ 95**	▲ 31

* FCF=営業CF+投資CF(定期預金増減除く) で算出

FCFの推移



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.



Ⅱ 2024/3期 決算の見通し

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2024/3期決算見通し

- **中国の不動産不況の深刻化などにより世界経済の減速感が強まっており、加えて、中東情勢の緊迫化などにより先行き不透明感が増している**
- **世界的に形鋼需要は盛り上がりに欠け、当社グループ総販売数量は減少傾向であるものの、経常利益は、各拠点において高水準の鋼材マージン維持及びコスト低減等に努めていることと、円安進行及び金利上昇による押上げにより、過去最高益であった前期並みの900億円を予想**

（億円）	2023/3期	2024/3期		前期比		前回予想比	
		直近予想 (2023/7/31)	今回予想 (2023/10/31)	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	1,804	1,540	**1,570**	▲234	▲13.0%	30	1.9%
営業利益	168	130	**140**	▲28	▲16.7%	10	7.7%
経常利益	905	820	**900**	▲5	▲0.5%	80	9.8%
持分法投資損益	662	–	**–**	–	–	–	–
親会社株主帰属当期純利益	653	580	**630**	▲23	▲3.5%	50	8.6%
営業利益率	9.3%	8.4%	**8.9%**	▲0.4pp	–	0.5pp	–
経常利益率	50.2%	53.2%	**57.3%**	7.1pp	–	4.1pp	–

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算見通し

連結子会社

鉄鋼事業（日本）

- 都市再開発及び半導体工場や物流施設など大型建築案件の形鋼需要や土木関連需要は引続き堅調
- 人手不足等による工期の遅延、市況の下落及び円安影響による諸コスト上昇など市場環境の後退懸念あり
- 業績は前回予想並み(前期比では増益)を予想

鉄鋼事業（タイ国）

- 新政権樹立後のインフラ投資再開等による形鋼需要の回復が期待され、国内は数量・価格ともに改善傾向
- 輸出市場では中国メーカー等との競争が厳しさを増しており、数量・価格ともに苦戦が続く
- 業績は前回予想比で増益(前期比では減益)を予想

持分法適用会社

米国

- 高インフレや金融引締めが続くなかでも米国経済は底堅く推移しているものの、中東情勢の緊迫化による影響など先行き不透明感あり
- 非住宅建設関連の需要は引続き堅調であり、形鋼市況は前年ほどではないものの比較的高値圏で推移する見込み
- 業績は前回予想比で増益(前期比では減益)を予想

中東

- 域内の形鋼需要はインフラ投資を中心に堅調であり、販売数量は前回予想を上回る見込み
- 安価な中国材の流入による市況軟化や中東情勢の緊迫化など不透明感あり
- 業績は前回予想比で増益(前期比では減益)を予想

ベトナム

- インフラ投資等の需要回復は期待ほど進んでおらず、販売数量は前回予想を下回る見込み
- 形鋼市況は中国の市況低迷の影響を受けているものの、鉄スクラップ価格も下落しており、鋼材マージンは維持される見込み
- 業績は前回予想並み(前期比では増益)を予想

韓国

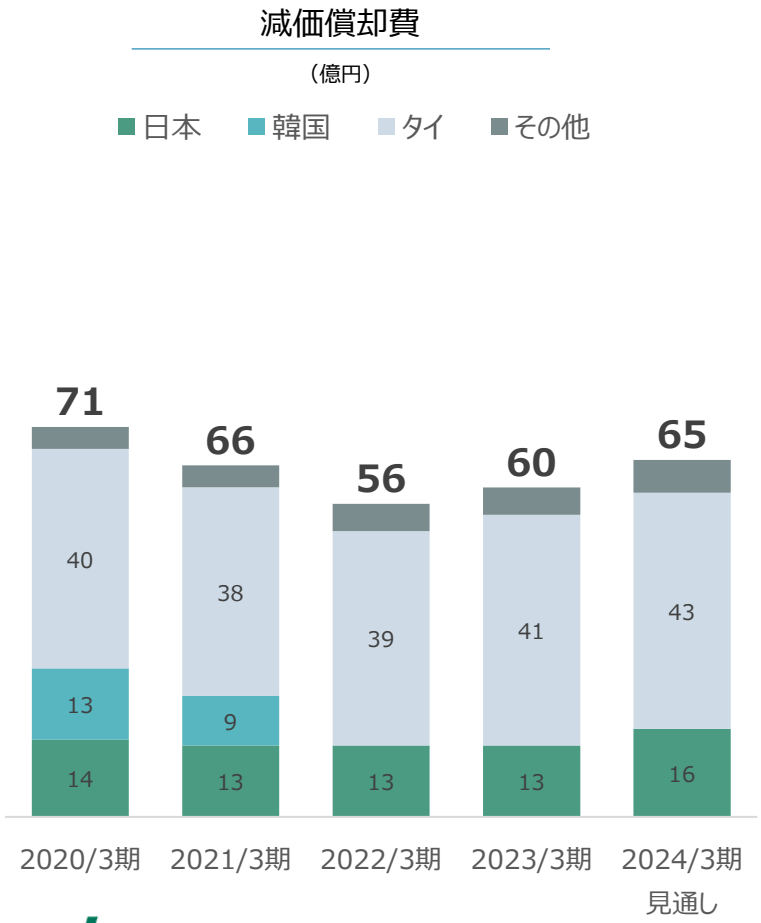
- 金融引締めによる不動産市場の低迷が長期化しており、鉄筋需要は更に悪化。販売数量も更に落ち込む見込み
- 業績は前回予想比で減益(前期比では減益)を予想

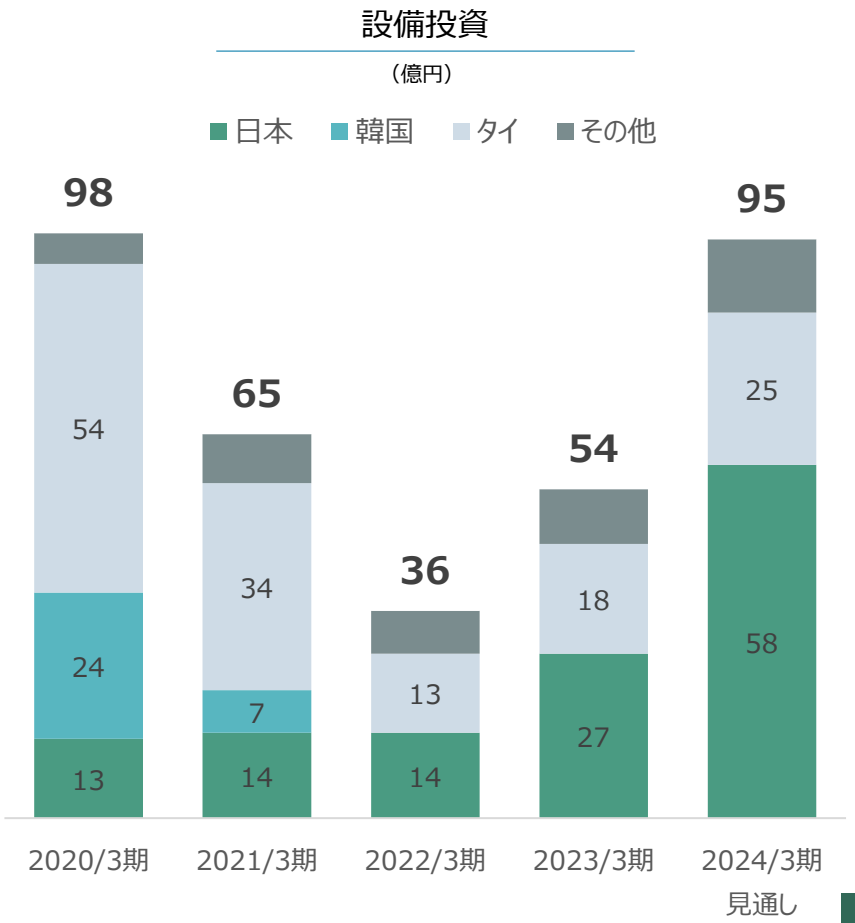
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

減価償却費及び設備投資の推移(連結子会社)

- **設備投資は前期比で増加見込み**
- **ヤマトスチールでは圧延ライン更新等の戦略的投資が進捗(うち、矯正機の更新工事は2024年6月頃完成予定)**
- **タイ/SYSは老朽化設備の更新や省人化に向けた設備導入が中心**





大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.



Ⅲ 株主還元(配当方針の一部見直し及び配当予想)

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元 ― 配当方針の一部見直し及び配当予想

■ **2023年10月31日開催の取締役会において、より配当水準の安定化を図るべく、配当方針の一部見直しを決議(2024年３月期より実施)**

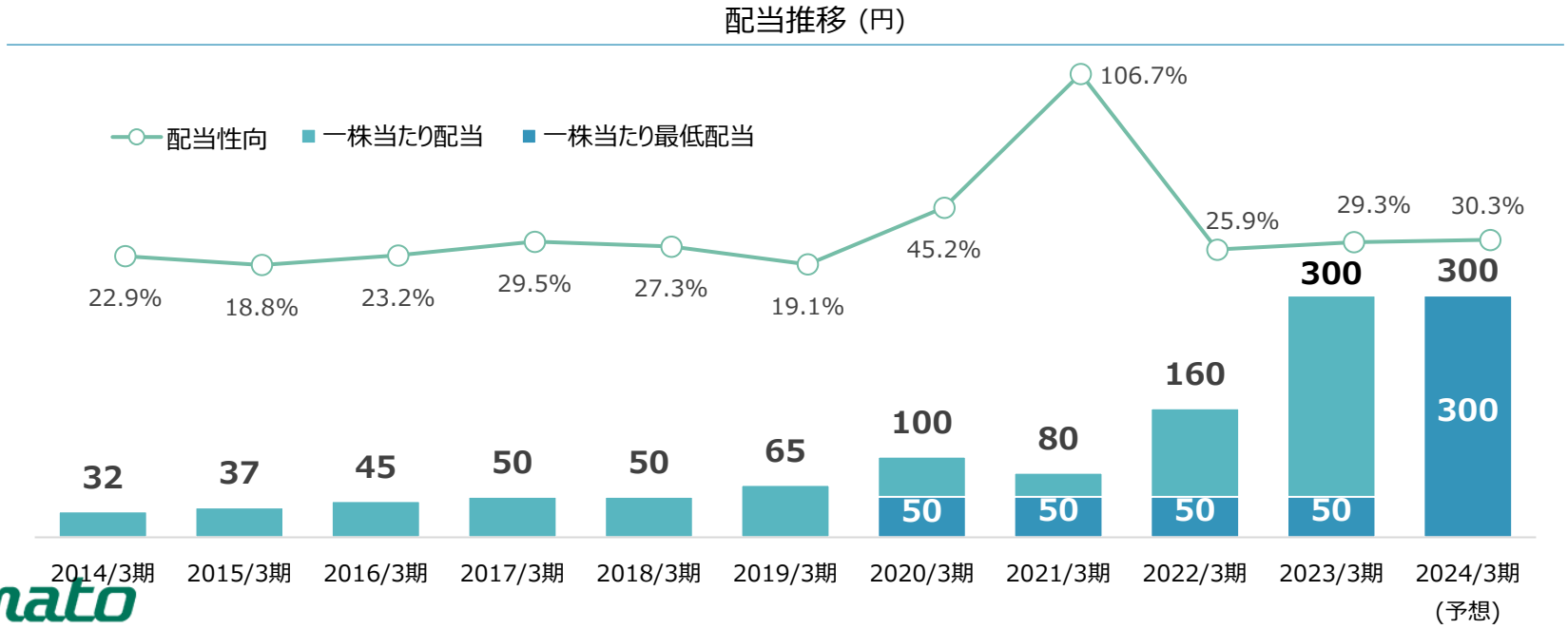
⇒ **最低配当額を「年間50円」から「当面の間は年間300円」に見直す**

＜変更後＞

配当につきましては、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針とし、連結配当性向40%を目処に毎期の配当額を決定するとともに、継続的かつ安定的な配当の維持にも努め、当面の間は１株当たり最低配当額を年間 300円といたします。

また、自己株式の取得につきましても、経営環境に応じて総還元性向等を総合的に勘案したうえで、適時実施してまいります。

■ **2024/3期 1株あたり年間配当予想300円(中間150円(確定)/期末150円(予定))**



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.



Ⅳ 企業価値向上に向けた取り組み状況

- ◆ 事業の中長期展望と投資戦略(2022年５月公表) ～経過レビュー ～
- ◆ 2030年ありたい姿 (更なる企業価値向上に向けた新たな挑戦)

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業の中長期展望と投資戦略(2022年5月公表)

～　経過レビュー　～

大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

経営課題（2022年3月期 期末決算説明資料より再掲）

- 当社の直面する経営課題は、米国に次ぐ第二の海外拠点の柱の構築
- 更なる成長が期待されるASEANを重点地域と位置付け、連結子会社であるサイアム・ヤマト社を核に、第二の柱を育成。一方、国内ではマザー工場としての設備更新・技術の発信力強化などに注力
- それらを解決することで、恒常的な高ROE水準を志向

		現状	経営課題
事業面	海外	✓ 米国事業が主軸 ✓ 米国、アジア、中東6ヵ国に展開	✓ 米国に次ぐ柱の育成 ✓ 戦略的な設備更新/増設/新技術導入 ✓ 展開地域の更なる拡大 ✓ 鉄事業領域の拡充 ✓ グローバル経営人材の育成
	国内	✓ H形鋼中心の堅実経営 ✓ 技術のマザー工場 ✓ 設備老朽化	✓ 戦略的な設備更新・新技術導入 ✓ 付加価値製品拡充による成長
財務面		✓ 潤沢な手元流動性	✓ 恒常的な高ROE水準を志向

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

アクションプランの進捗状況

アクションプラン	進捗状況
①グローバル販売数量の拡大	
ASEAN形鋼300万トン体制構築計画 1. M&Aを通じて新規拠点を獲得 2. 既存拠点の増強 タイ（SYS） 既存圧延ラインの更新 （ASEAN展開のマザー工場化） ベトナム（PY VINA） 中小型圧延ライン増設	**ASEAN形鋼300万トン体制の構築に向け前進** 1. 域内最大の人口を有し更なる成長が期待できるインドネシアで拠点を確保(詳細は次頁) 2. 最適な投資時期を検討中 環境投資の一環でもある電気炉DC(直流)化を優先課題とし、圧延ライン更新時期は状況を見極めながら判断 国内需要動向を見極めながら投資時期を判断
②最先端技術の導入による高収益化	
● マザー工場であるヤマトスチールの競争力強化及び技術の発信力強化	● 圧延ライン更新等：2026年半ば稼働予定 （うち、矯正機の更新工事は計画通り進行中であり、2024年6月頃完了予定）
③高度経営人材の育成	
● グローバル拠点間の人材交流を積極化 ● グループ間での人事交流増加	● 人事制度を全面的に刷新(2023年4月) ● 新人事制度に沿って、人材育成/交流を加速

Yamato 大和工業グループ

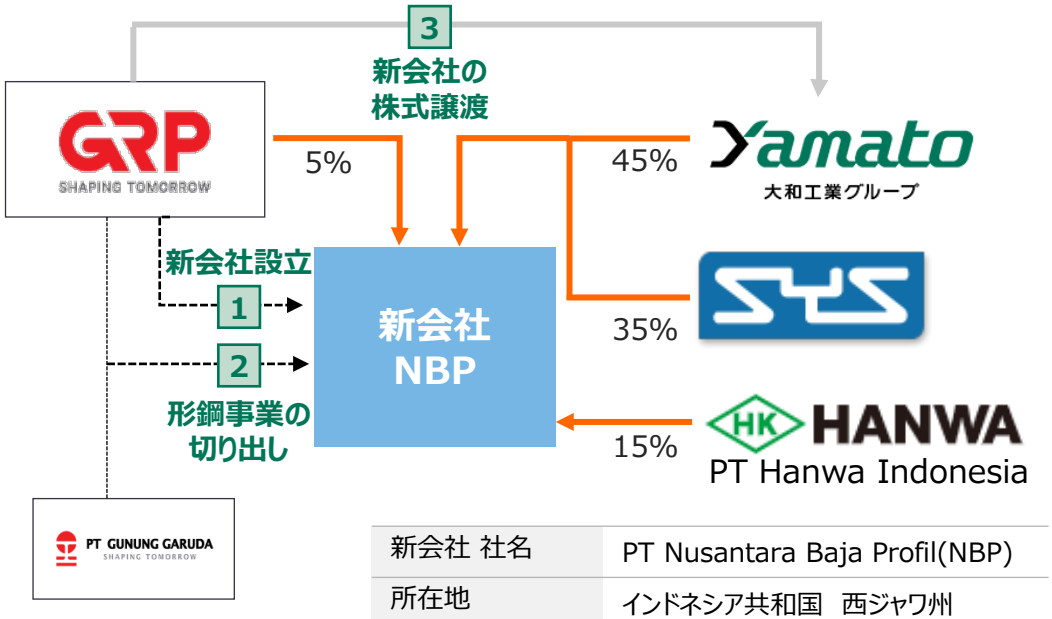
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

インドネシア案件概要

- **当社及び連結子会社のSYSは2023年8月に、インドネシア/GRP社*が営む形鋼事業並びにGRD社*が保有する事業用不動産を現物出資により承継する新会社(NBP社)の株式80%を取得することに合意(取得価額：約340百万米ドル)**
- **タイのSYS・ベトナムのPY VINAに続くASEAN域内第３の拠点として、域内最大の人口を誇るインドネシアでの拠点獲得を決定。「ASEAN形鋼300万トン供給体制」の構築に向け大きく前進**
- **当社グループがマジョリティ株主として自律的・持続的な成長を目指すものであり、より積極的な事業戦略推進に踏み出す投資**
- **株式譲渡実行日：2024年4～6月期予定**

概要

- ✓ GRPは、インドネシアで50年以上の操業経験を持ち、同国形鋼市場で最大シェアを有する大手民営鉄鋼メーカー
- ✓ GRPの形鋼事業を分社化し、当社グループへ譲渡



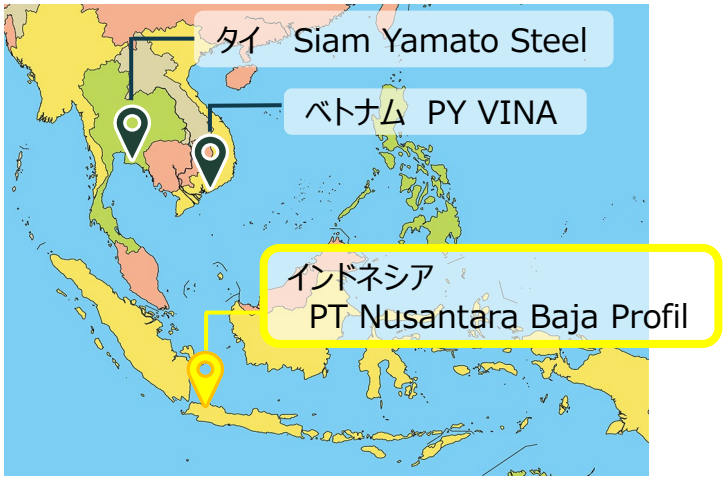
GRP株主のGRD社が保有する
形鋼事業用不動産の切り出し

新会社 社名	PT Nusantara Baja Profil(NBP)
所在地	インドネシア共和国　西ジャワ州
事業内容	鉄鋼製品の製造・販売
年産能力(公称)	製鋼：100万トン、圧延：90万トン

＊GRP：PT Gunung Raja Paksi Tbk　＊GRD：PT Gunung Garuda

M&Aシナジーについて

- ✓ 当社グループが長年培った電炉操業技術や、SYSがASEAN地域で蓄積したマーケティング等のノウハウを持ち込み、戦略的な追加設備投資を実行することで、今後大きく伸長するインドネシア形鋼市場の需要捕捉を目指す
- ✓ 設立から30年超が経過したSYSをASEAN地域のマザー工場として位置づけ、SYSを軸にASEAN3拠点間のシナジー最大化を図る
- ✓ インドネシアで幅広く鉄鋼事業を展開する阪和興業も同社現地子会社を通じ15%参画。同社との協働により本事業の持続的な成長を目指す
- ✓ GRPも5%株主として継続関与。同社との連携も図る

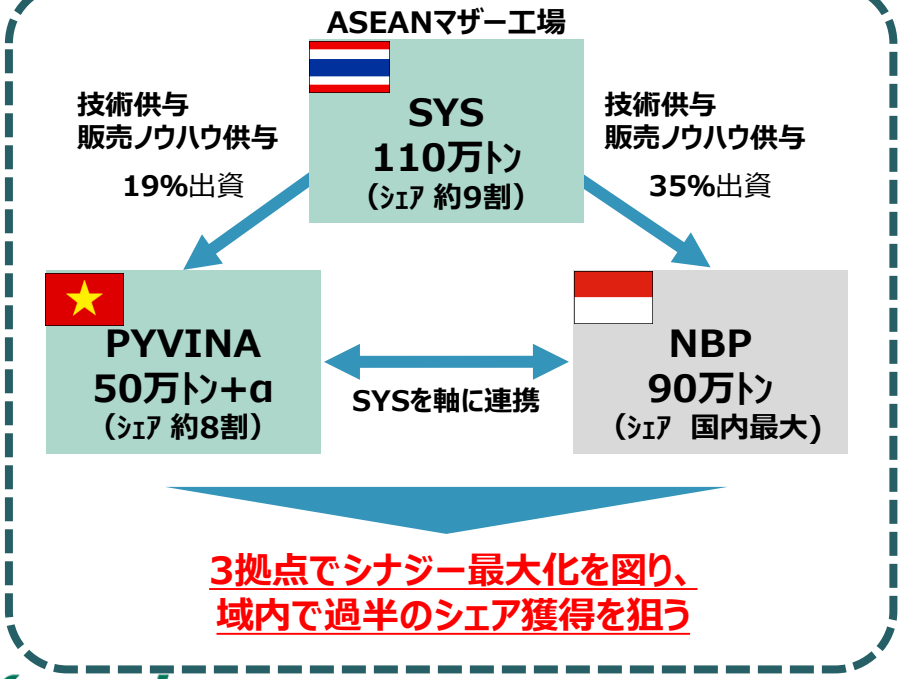


インドネシア案件概要

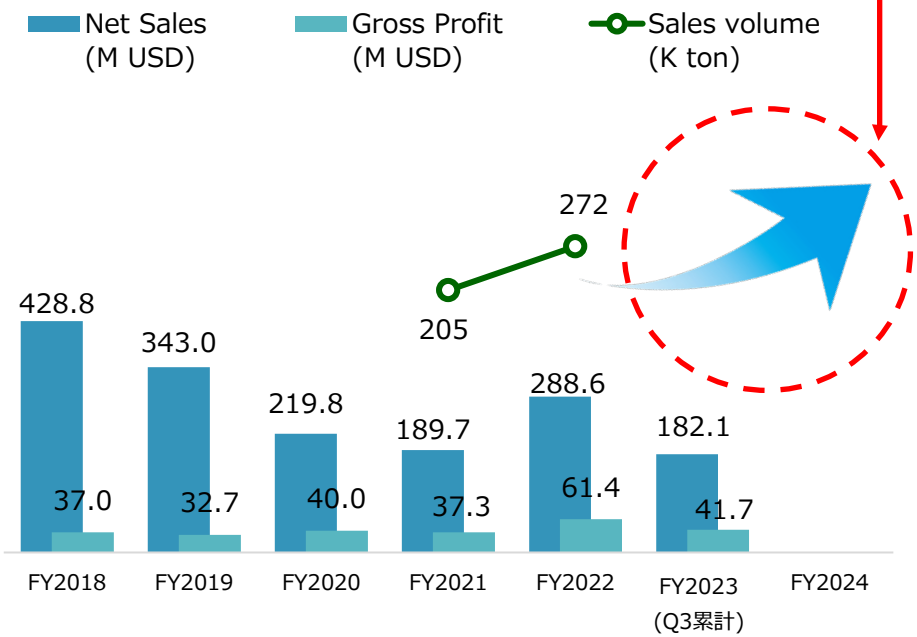
インドネシア事業の収益拡大に向けた今後の取組み

- ✓ ASEAN戦略の地域の中核を担うSYSとの連携強化(SYSから経営幹部・エンジニアなど10～11人派遣予定)
- ✓ 伸長するインドネシア国内市場の捕捉に向け、SYSのマーケティングノウハウを注入(例：SYS製品も活用して鋼種、サイズの補完を行いNBP製品の販売力も強化)
- ✓ 昨年更新の中小型圧延ラインの稼働率早期引上げを図る
- ✓ 中大型圧延ラインは生産性向上・製品サイズの拡充等に向けた追加設備投資を計画

ASEAN形鋼戦略（300万トン体制）



<ご参考> GRP社 Steel Bars segment業績

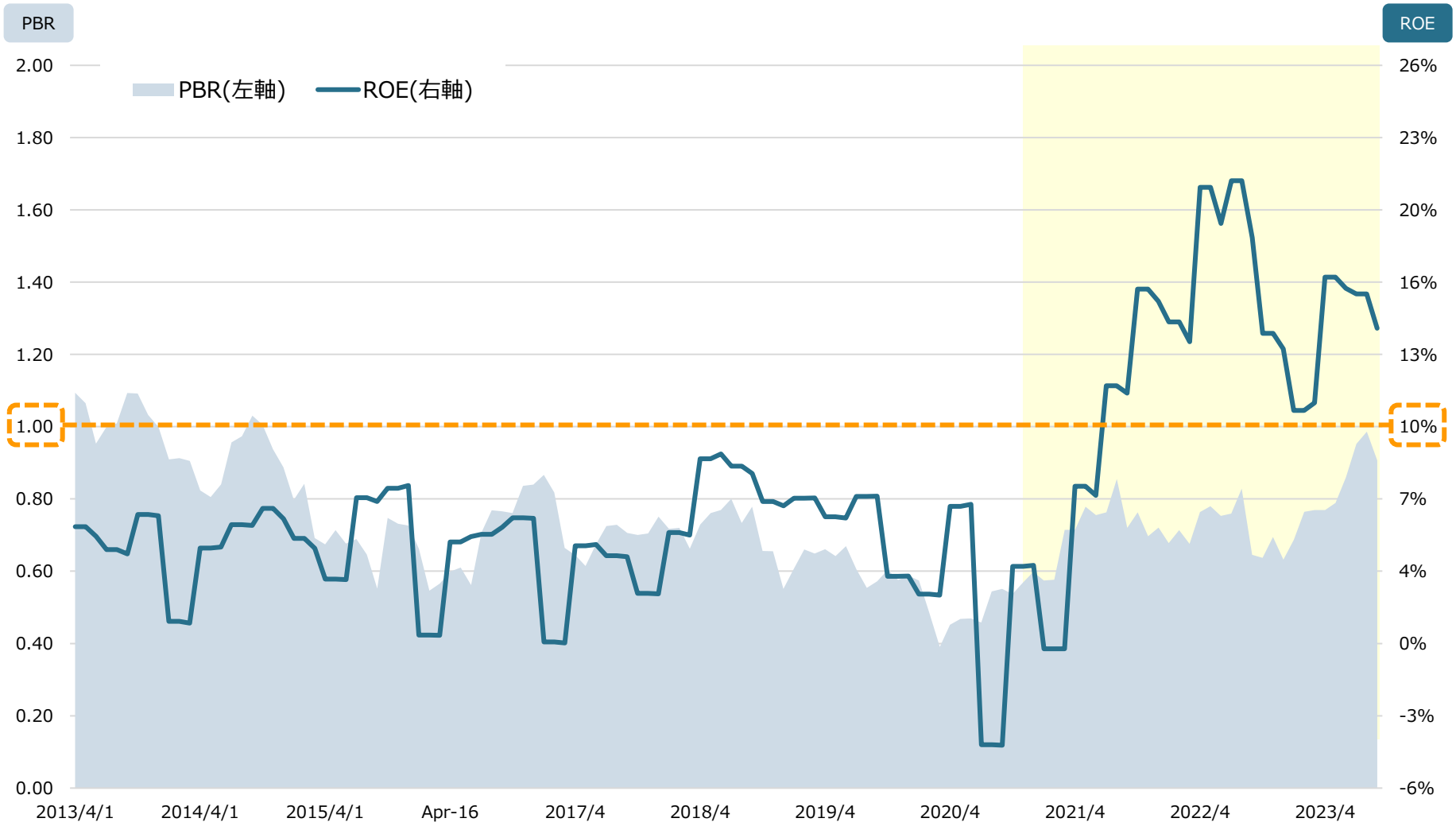


※ GRP社Annual Reportより当社作成(Sales VolumeはFY2021・2022のみ開示)
※ Steel Bar Segmentに含まれる製品はH-Beam、Angle、Wide Flange

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

主要指標の推移－１

ROEとPBR(市場からの評価)の推移

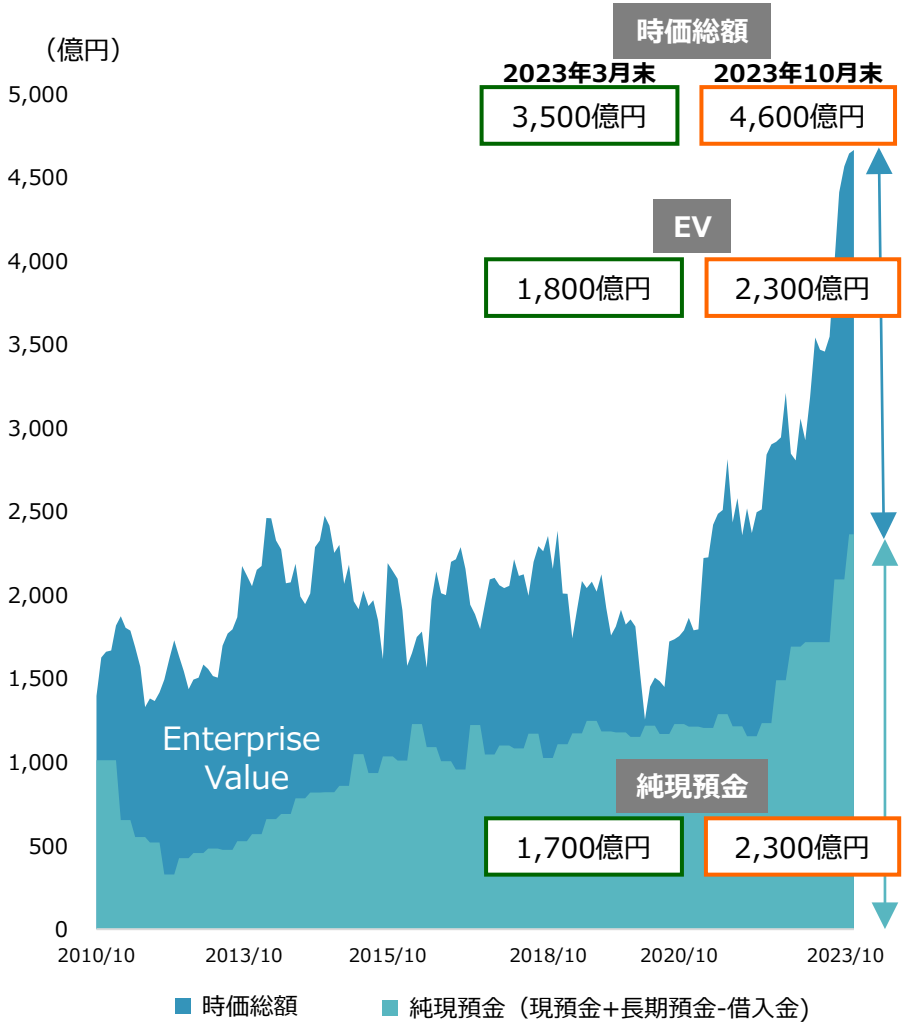


*ROE＝PBR/PERで計算

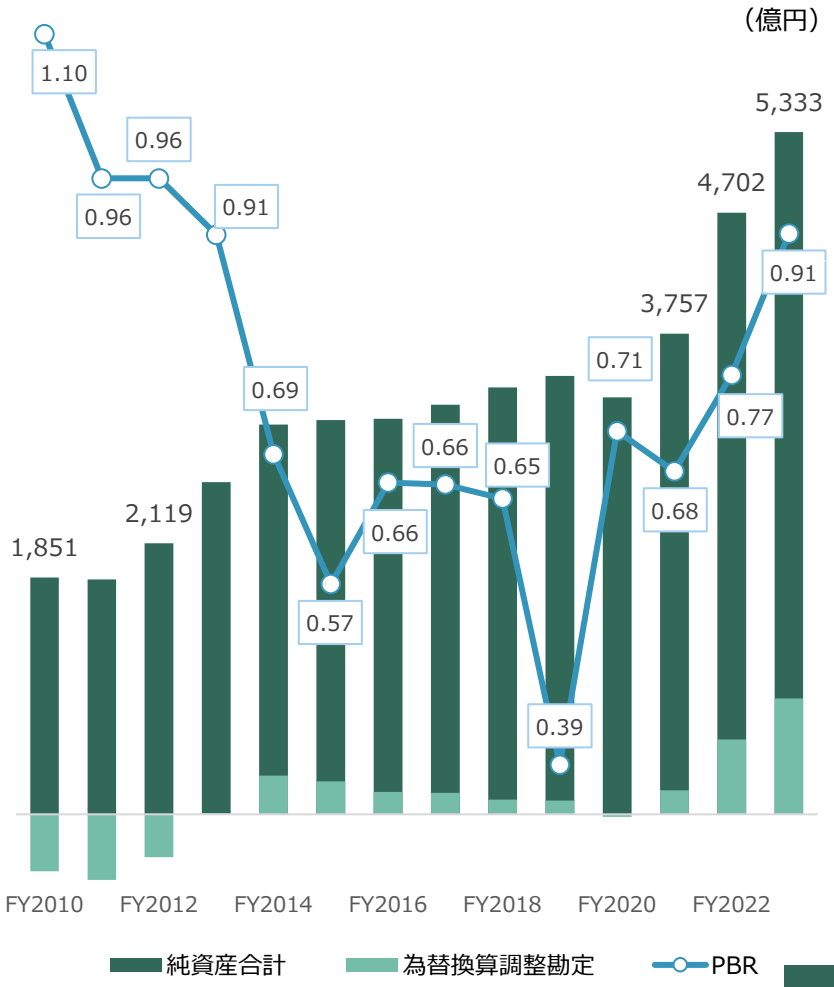
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

主要指標の推移－２

Enterprise Value(EV)の推移



純資産･PBRの推移



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2030年ありたい姿

更なる企業価値向上に向けた新たな挑戦

大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

更なる企業価値向上に向けて（振り返り）

- 1987年の米国進出を皮切りに、アジア、中東に拠点を拡充し、グローバルビジネスモデルを構築（JVパートナー戦略）
- 海外事業は全社経常利益の過半を稼ぎ出す源泉として収益拡大に貢献
- 米国に次ぐ、第二の収益の柱ASEANに確立

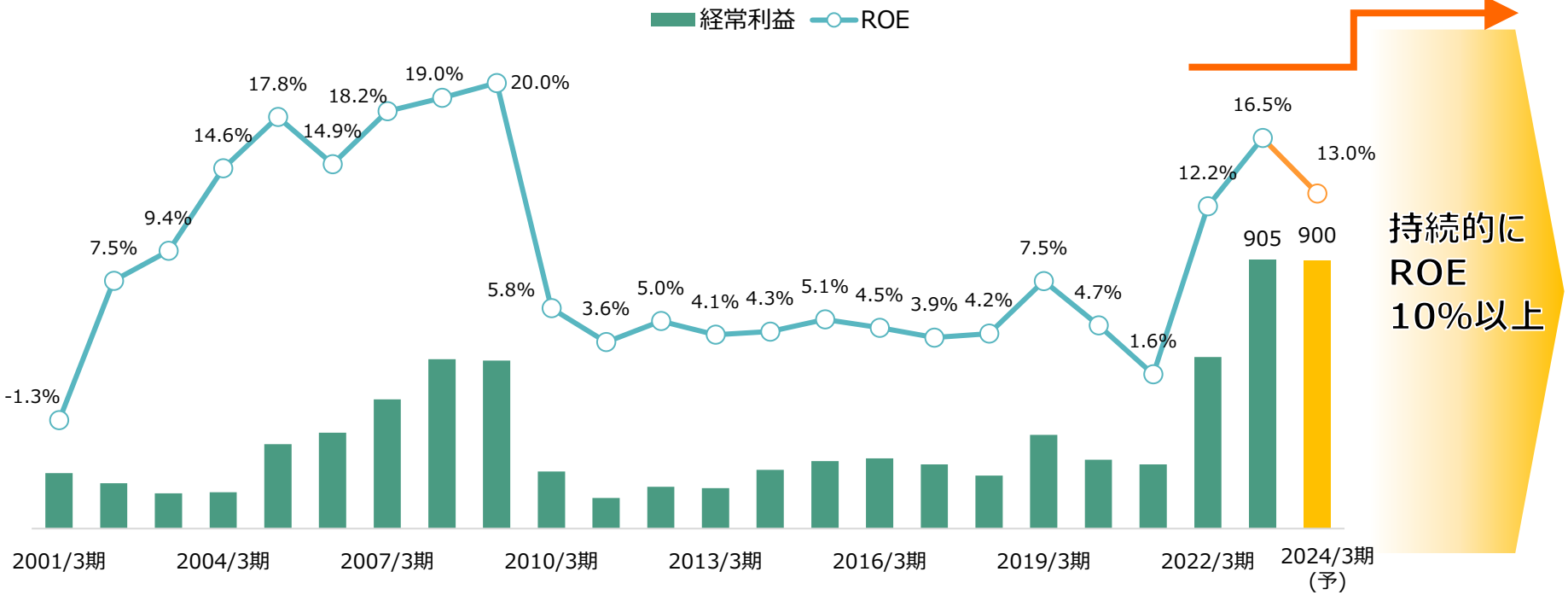
➡ 更なる飛躍に向け、安定した高い資本効率と持続的成長を目指す

2030年ありたい姿への挑戦

ASEANに軸足

米国主軸にグローバル事業展開を拡大

飛躍期へ



持続的にROE 10%以上

米国	タイ	韓国	バーレン	サウジアラビア	ベトナム	インドネシア
87年	92年	02年	09年	11年	20年	24年

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2030年ありたい姿の策定にあたって

取り巻く環境変化と経営課題

グリーン

気候変動問題への対応

循環型社会実現への責務

コア事業と新領域

形鋼事業の更なる成長

事業領域拡大を本格化

大和工業グループ独自の強み

グローバル

世界の優良企業との強いパートナーシップ

成長地域への市場開拓力と拠点確保

技術力

技術力向上へのあくなき探求心

高度な操業ノウハウと最先端技術

2030年ありたい姿

VISION （2019年制定）

最先端の技術で、世界のインフラを支える、鉄のリーディングカンパニーを目指します

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2030年ありたい姿への挑戦

形鋼グローバルNo1としての地位（量×収益力）を確固たるものとし、新たな事業領域でも挑戦を続けている

カーボンニュートラル・循環型社会実現に向けた継続的な取組み

- グリーン技術/エネルギーの導入加速による電炉事業の環境優位性の向上
- 先端技術を有する企業との提携、大学等との共同研究開発

コア事業である形鋼事業の強靭化

- アジア等の成長地域での販売拡大
  （新規拠点の獲得、既存拠点の競争力強化）
- 高度な操業ノウハウと最先端技術の導入による収益力維持・向上

形鋼事業への成長投資
2,000億円(当初計画+800億円)
➡ 形鋼生産能力800万トン体制構築

新たな鉄・インフラ・グリーン事業領域への進出

- 形鋼に続く製品群の拡充やバリューチェーンの強化、技術獲得
- 国内外での積極的なM&A推進

新事業領域への成長投資
500～1,000億円
➡ 新たな挑戦

新たな挑戦を支えるプロフェッショナル人材の育成と充実

グローバル企業として、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2030年ありたい姿に向けた成長投資計画の全体像

投資計画 総額2,500～3,000億円

成長投資

①当初計画

1,200億円
（22/3期～26/3期：5年間）

実施/進捗案件	未決定分の遂行
インドネシア	M&A
タイ	圧延ライン更新
ベトナム	中小型圧延ライン増設
韓国	工場移転
日本	圧延ライン更新

②追加計画

形鋼事業の強靭化
＋ 800億円

中大型圧延ライン増強等

電気炉DC(直流)化

成長地域での新規拠点獲得
＋
追加投資の実施

※①、②は区分せず、優先すべきと判断したものから適時実施

③新規計画

検討及び準備期間

新たな鉄・インフラ・グリーン事業領域への進出
500～1,000億円 M&A推進

- ①当初計画(2021年5月公表)の進捗状況は2年半経過段階で全体の約半分。残りを確実に遂行
- ②追加計画(形鋼事業)及び③新規計画(新領域)と、成長投資を拡大し、更なる企業価値向上を図る

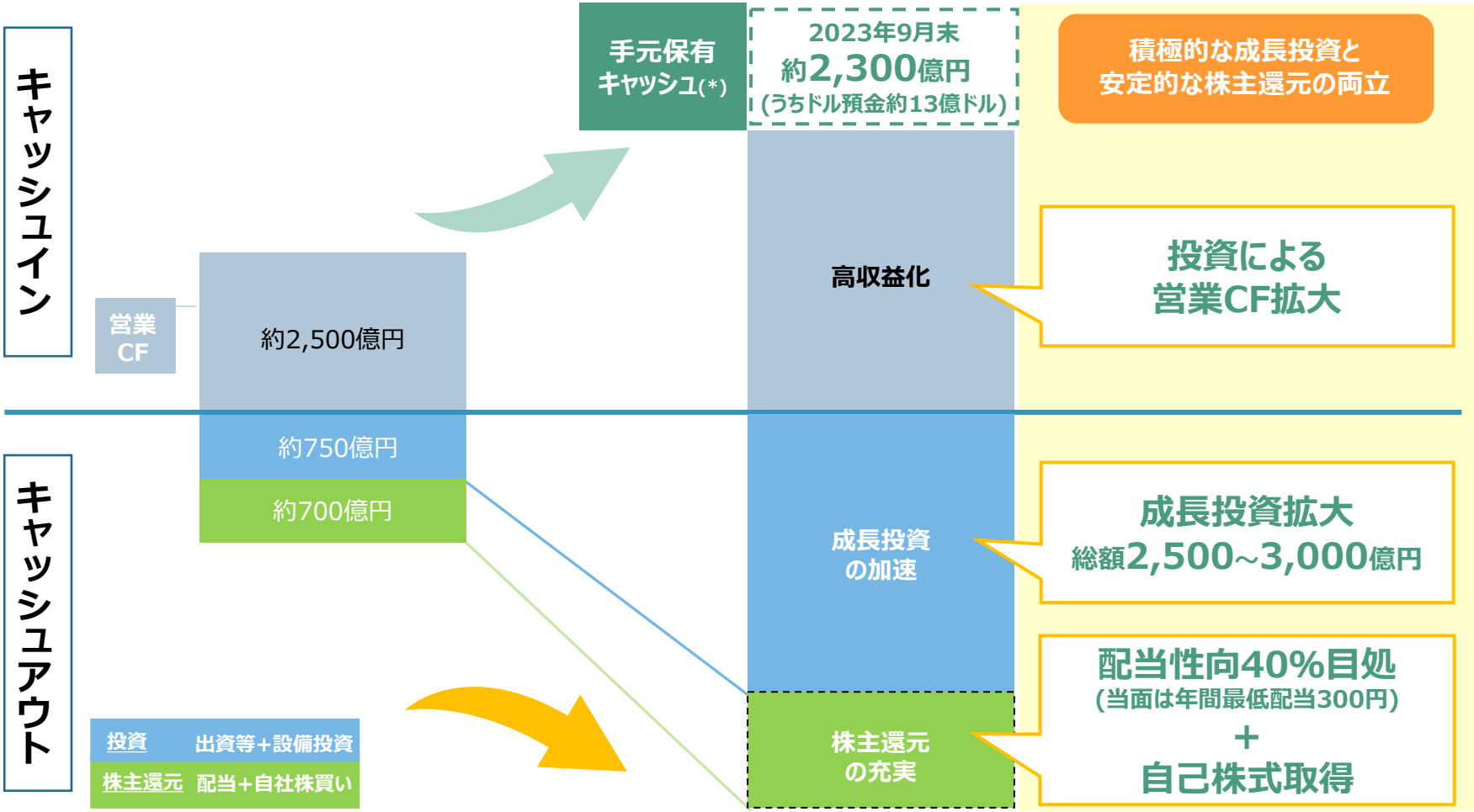
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

企業価値向上のための戦略的なキャッシュ配分

過去10年(2012/3～2023/3期)　　2024/3期～

財務基盤強化　⇒　資本効率向上　　ROE10%以上を維持　　2030年 ありたい姿の実現



成長投資の加速＋株主還元の充実

(＊)手元保有キャッシュ＝現金＋長期預金

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

<補足> 形鋼生産能力800万トン体制

既存形鋼生産能力 650万t(インドネシア拠点含む)

＋ 既存増強及び成長地域での新拠点獲得により 800万t 体制実現へ

マザー工場：電炉操業技術

日本	ヤマトスチール	100%	70万t

第一の収益の柱：米国　安定市場

米国	NYS	49%	230万t

第二の収益の柱：ASEAN　成長市場

タイ	SYS	64.18%	110万t
インドネシア	NBP	80%	90万t
ベトナム	PY VINA	49%	50万t
			250万t +α

中東事業

バーレン	SULB	49%	60万t
サウジアラビア	Saudi Sulb	49%	40万t
			100万t

成長地域の新拠点

アジア等	+100万t

% ：出資比率
万t：生産(圧延)能力

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご留意事項等

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.